

教育・保育施設等における重大事故防止対策を考える有識者会議 (第2回:平成28年10月25日開催)における主な議論について

資料6

事故情報データベースの改善について

【データベース改善に関する議論について】

事故情報データベースは、平成27年6月より内閣府HP上で掲載しているが「必要な情報を簡便な方法で検索できるような仕組みになっていない」「検索しやすくするためのキーワードの設定等が必要ではないか」等、第一回有識者会議等におけるご指摘を踏まえ、以下の観点から具体的な改善案をお示しし、ご議論いただいた。

- 1) 多くの項目について、あらかじめ選択肢を設定し、報告内容の記載にバラツキが起きないようにする。
- 2) 報告項目の追加により、報告内容の標準化を進める。
- 3) 特に重要と考えられる事故要因等については使用する用語の統一化を図る

(例:「午睡」「昼寝」→「午睡」で統一 など)

【今後の事務スケジュール等について】

改善の方向性等について、基本的にご了承いただいたため、会議における委員からのご指摘を踏まえ、事務局において再度内容を精査し、対応につき、ご一任いただいた座長とご相談の上改正案を確定する。

改正案に基づき、平成29年度からのデータベースに反映できるよう、必要な通知の改正等、事務作業を進める。

有識者会議の今後の進め方について

今後の有識者会議については、以下の通り、実施していくことでご了承いただいた。

【基本的な進め方】

1. 自治体の検証報告がある程度数が出された時点で、検証報告後の自治体からヒアリング（非公開）を行うこととする。
2. ヒアリングを行った後、適切なタイミングで、ヒアリングの内容を踏まえた重大事故防止策の議論を行っていただくことにより、PDCAの観点も入れた再発防止のための取組を推進していく。
3. 検証報告後の自治体のノウハウを共有するため、有識者会議とは別に、検証実施前等の自治体間で情報共有会議（非公開）を実施する。
4. 事故報告様式や事故データベースの充実、ガイドラインの改善については、有識者会議においてその必要性を判断し、適時において検討を行う。